

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	241	学校名	仙台市立吉成中学校	校長名	飯田 毅
------	-----	-----	-----------	-----	------

1 テーマ 「地域との連携や委員会活動を中心とした環境教育活動の取組」



2 取組の紹介

本校の学区内には林や公園などが点在し、自然豊かな環境にあります。この地域の豊かな環境を守り引き継いでいくために、本校の環境教育・ボランティア活動の中核を担っている生徒会組織の1つである「よしボラ委員会」が中心となって活動してきました。今年度も以下の3つの活動を中心に取り組みました。

(1) 落ち葉掃き活動(よしボラ委員会・全校生徒)

毎年恒例となっている学区内の公園や道路の落ち葉掃き活動を、11月14日に地域連携や小中連携を兼ね、町内会の方々や吉成小学校の5・6年生の児童らと共に落ち葉掃きの清掃活動を実施しました。よしボラ委員会の生徒が中心となって地域の公園など6か所で大量の落ち葉を集めました。落ち葉を詰め込んだ回収袋が合計で約138袋分になりました。地域への感謝の気持ちを込めながら、よりよい地域をつくろうとするこの活動で、地域の美化と安全、そして環境整備に貢献することができました。

(2) 雪かきボランティア活動(ゆきボラ)

本校は仙台市西部の丘陵地にあるため、積雪量が多い地域です。雪の降った朝には、ボランティアの生徒たちが雪かきを行い安全な環境づくりに貢献しています。1月16日と25日に実施しました。生徒たちは「ゆきボラ」として自主的に参加し意欲的に活動しています。

(3) PTA緑化活動(「大人もよしボラ」校内の花壇の苗植え)

保護者ボランティアによるPTA緑化活動が11月1日に行われました。地域の方の協力もいただきながら20名で取り組みました。今年度は生徒が花壇の花の配置をデザインし、冬から春にかけての花苗(葉ボタンやチューリップ)をそれぞれ植えました。生徒や学校、地域が協力して地域の自然環境の一端である校地内の環境を整えることができました。

3 取組の成果

「よしボラ委員会」を中心とした3つの活動で、今年度も地域の環境整備、住みつづけられるまちづくりに貢献することができました。これらの活動を通して、自分たちが住む地域の良さを知り、様々な人と関わりながら、協力して共に住みつづけられるまちづくりを支えていくことの大切さを学んでいると感じています。そして、地域との連携や小中連携をしながら、この地域の人たちとともに、住みつづけられるまちづくりに貢献しています。地域の行事などへの参加や手伝い、夏休みに実施した「てらこや」などの活動が今年度再開しました。様々な活動の再開によってともに活動することへの意識も高まってきました。これからも吉成中学校の良き伝統である活動を引き継ぎ、今までの活動を見直したり、より良い活動内容を工夫したりしながら、ともに住みつづけられるまちづくりに関わっていきたいと考えています。